

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	J a v a S c r i p t I	山田 忍	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。						
【講義概要】						
プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの使い方について演習を行う。 各自10分ほどでJavaScriptについて研究を行い発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めてもらうことを狙いとしている。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	プログラムの仕組み、JavaScriptの基礎、環境構築、画面に出力する					
2	変数、データ型、演算子、繰り返し、条件分岐					
3	変数、データ型、演算子、繰り返し、条件分岐					
4	関数、イベント処理					
5	関数、イベント処理					
6	さまざまな処理を行う					
7	DOMについて理解し、HTML, CSSを操作する					
8	非同期通信と通信処理					
9	Canvas、アニメーション制御					
10	総合演習					
11	総合演習					
12	総合演習					
13	総合演習					
14	総合演習					
15	総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。						
【教科書・参考文献】						
Figmaデザイン入門 オリジナル教材						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	J a v a S c r i p t Ⅱ	山田 忍	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
JavaScriptの標準仕様を理解した上で、フレームワークを活用したWebサービスを開発することができるようになる。						
【講義概要】						
JavaScriptフレームワークのReactについて講義する。 各自10分ほどでJavaScriptについて研究を行い発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めてもらうことを狙いとしている。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	JavaScript基本構文の復習					
2	JavaScript制御構文、データ処理の復習					
3	DOM操作の復習					
4	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
5	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
6	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
7	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
8	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
9	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
10	JavaScriptフレームワークを学ぶ					
11	総合演習					
12	総合演習					
13	総合演習					
14	総合演習					
15	総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。						
【教科書・参考文献】						
Figmaデザイン入門 オリジナル教材						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	U n i t y	国井 和昭	無	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
unityを通し、プログラムの基本を学ぶ事で、プログラムの思考を手に入れること。 高度な技術を詰め込むのではなく、基本を実践しながら体に覚えて貰います						
【講義概要】						
Unityを使いながら、課題を考えて作っていきます。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	なにも分からない状態でUnityを起動してもらい、物体を落とすところまでをまねして貰う。その後、授業全体の説明と目的説明。					
2	プログラムを学ぶ前の心構え、気の持ち様をしる。そもそもプログラムとは何なのかからはじめ、コンピュータの成り立ちや、プログラム方法の変遷に軽く触れた上で、いまのプログラムはコツさえ分かれば誰でも組めるものだとまとめる					
3	関数とはなにか、使う意味などを教える。次に関数と変数などをまとめたクラスとは何か、一般的なオブジェクト指向の考え方はなにかを説明。また、いまのプログラムに欠かせないイベントについても説明しておく。難しい説明が増えたところで演算子について説明し理解を促す					
4	分岐、ループ、そして一般的な出力の方法を実践する。最後にTipsとして、プログラムを組む際のコツ、リファレンスの読み方など今後プログラムにどう触れていけばを講義する。					
5	Unityを改めて操作し、画面パネルの意味、オブジェクトの動かし方や配置方法、色の付け方、動かし方などを実践していく					
6	「メインループ」の概念や、ゲームを作る際のオブジェクト指向とはどんなものかを講義。					
7	サンプルを遊ばせどんな仕様かを説明する。その後、どんなプログラムが動いているか、パーツ毎に学習し、それをパズルのように組み立てさせる。					
8	状況に応じてヒントやアドバイスをし、書き写したプログラムではなく自分で作り上げたという『経験』をさせていく。					
9	できる限り自力で完成に導かせるとともに、最後には、おさらいとして見本作成をしてみせる。プログラムに正解はないが、自分のプログラムと見本をくらべ、考え方を学ぶ。					
10	新たなゲームの仕様とサンプルを遊ばせ、必要な要件としてオブジェクトを増やす方法を教える。自分で作った的当てゲームを改変する方法を考えさせる。					
11	まずはサンプルを遊ばせる。必要な要素として、移動や、座標系の講義をし、どのように改変すればよいか考えさせる。					
12	状況に応じてヒントやアドバイスをし、書き写したプログラムではなく自分で作り上げたという『経験』をさせていく。					
13	サンプル通り完成させるだけでなく、学生の要望を聞き入れ、各自オリジナルの要素をくみこんでいく。					
14	まとめと総合演習					
15	まとめと総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	30%			70%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
Unityの教科書 Unity2019完全対応版、リファレンス他						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	HTML／CSS I		山田 忍	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
HTMLを構成するタグの役割や属性について、意味をしっかりと理解したうえでセマンティックを意識したウェブサイトが制作できるようになる。							
【講義概要】							
本講義ではウェブサイト制作言語であるHTML5とCSS 3の基礎を、演習を通して学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	HTML基礎① ウェブサイトの仕組み、環境構築、HTML基本構文を学ぶ						
2	HTML基礎② HTMLの要素、リンクの設定、パスの指定方法を理解する						
3	CSS基礎① CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する						
4	CSS基礎② CSSのボックスモデルを理解する						
5	HTML&CSS基礎③ リスト・ナビゲーションの作成方法を理解する						
6	HTML&CSS基礎④ フレックスボックスによるレイアウトを学ぶ 「主軸と交差軸」を理解する						
7	HTML&CSS基礎⑤ フレックスボックスとグリッドによるレイアウトを学ぶ						
8	HTML&CSS基礎⑥ シングルカラムレイアウトのページを作成する						
9	HTML&CSS基礎⑦ マルチカラムレイアウトのページを作成する						
10	Webサイト制作演習① 他己紹介サイトの制作						
11	Webサイト制作演習② 他己紹介サイトの制作						
12	Webサイト制作演習③ 軽井沢研修のレポートサイトの制作						
13	Webサイト制作演習④ 軽井沢研修のレポートサイトの制作						
14	Webサイト制作演習⑤ 軽井沢研修のレポートサイトの制作						
15	Webサイト制作演習⑥ 軽井沢研修のレポートサイトの制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
プロを目指す人のHTML&CSSの教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	HTML／CSSⅡ		山田 忍	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
前期に学んだHTML/CSSの基礎をもとに後期ではウェブサイトの制作を通して実践的な制作スキルを身につける。							
【講義概要】							
ウェブサイトの制作をこなしながら、内部SEOやSNS連携、APIの活用方法などを講義する。 CSS設計や仕様書に沿ったサイト制作などより実践的な内容を学ぶ							
回	授業計画及び学習の内容						
1	HTML/CSSの基礎復習						
2	マルチレイアウトを学ぶ レスポンシブデザイン（ブロックグリッド・スプリットスクリーン）						
3	表組みとフォーム設計を学ぶ						
4	CSS設計を学ぶ						
5	仕様書に沿ったサイト制作を学ぶ						
6	Webサイト制作演習						
7	Webサイト制作演習						
8	Webサイト制作演習						
9	Webサイト制作演習						
10	ポートフォリオサイトの制作						
11	ポートフォリオサイトの制作						
12	ポートフォリオサイトの制作						
13	ポートフォリオサイトの制作						
14	ポートフォリオサイトの制作						
15	ポートフォリオサイトの制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
プロを目指す人のHTML&CSSの教科書							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門 必修	実習	ウェブ制作演習	山田 忍	有	1.5 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
1年前期の総合演習としてテーマに沿ったウェブサイトの制作を行う。 サイト制作を通してデザインとコーディングスキル向上を目指す。 授業の最後には成果物発表を行うため、プレゼン練習なども授業内で行う。							
【講義概要】							
前期科目「HTML/CSS I」、「Photoshop/Illustrator」、「UI演習」、「デザイン基礎 I」科目の総合演習として授業を通して作品の制作を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	HTML/CSS演習						
2	HTML/CSS演習						
3	HTML/CSS演習						
4	HTML/CSS演習						
5	デザインツール演習						
6	デザインツール演習						
7	デザインツール演習						
8	ワイヤーフレーム作成、ウェブサイトデザイン制作						
9	ウェブサイトデザイン制作						
10	ウェブサイトデザイン制作						
11	ウェブサイトコーディング						
12	ウェブサイトコーディング						
13	ウェブサイトコーディング						
14	ウェブサイトコーディング						
15	ウェブサイトコーディング						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
Figmaデザイン入門 オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	U I 演習		山田 忍	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Webデザインを行ううえで必要な基礎知識を身につける。 UI制作に必要なアプリケーションを使いこなす。							
【講義概要】							
AdobeXDやFigmaを使用してWebデザインの手法について学ぶ。 関連科目「色彩/UI演習」、「HTML/CSS I」、「デザイン基礎 I」と連携した制作課題を行う。 WebデザインやUIについて自身で研究を行いそれを全員に発表する「10分間授業」を1回実施する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	オリエンテーション 「Webデザインの流れを学ぶ、必要な環境とツールについて」						
2	ワイヤーフレームの作り方を学ぶ。 演習：ワイヤーフレーム制作						
3	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 基本操作・画像の書き出し						
4	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したデザイン制作						
5	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したPC・スマホUI制作						
6	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したプロトタイプ制作						
7	デザインガイドライン、レイアウトルール、デバイス特性を学ぶ。画像の解像度・拡張子について						
8	感覚を言語化してデザインに落とし込む方法「レイアウト、フォントの選択、配色」						
9	演習：サイト全体のレイアウトデザイン						
10	演習：ヘッダーデザイン、ヒーローイメージデザイン、ナビゲーションデザイン						
11	演習：ボタンデザイン、アイコンデザイン、背景デザイン						
12	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
Figmaデザイン入門 オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ポートフォリオ制作Ⅰ	山田 忍	有	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
1 年次に取り組んだ課題をポートフォリオとしてまとめる。						
【講義概要】						
クリエイターとして活動するには、制作スキルはもちろんポートフォリオや能力をアピールするプレゼン力が必要である。ポートフォリオ制作について個別の指導を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	ポートフォリオ制作					
2	ポートフォリオ制作					
3	ポートフォリオ制作					
4	ポートフォリオ制作					
5	ポートフォリオ制作					
6	ポートフォリオ制作					
7	ポートフォリオ制作					
8	ポートフォリオ制作					
9	ポートフォリオ制作					
10	ポートフォリオ制作					
11	ポートフォリオ制作					
12	ポートフォリオ制作					
13	ポートフォリオ制作					
14	ポートフォリオ制作					
15	ポートフォリオ制作					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。						
【教科書・参考文献】						
HCDライブラリー0巻 人間中心設計入門						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	進級制作		山田 忍	有	4.5 単位 90 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 当専門学校で学んだ1年間の総決算 ・ メッセージ発信【同級生、在学生、将来の入学生／就職先／社会】 ・ 進級単位認定（習得した技術の反映と、なんらか商業的・社会的価値を想定したもの）							
【講義概要】							
指導教員による個別指導となります。 概要は別紙「卒業・進級制作概要説明」を確認のこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	進級制作ガイダンス						
2	進級制作企画提案						
3	進級制作企画提案						
4	進級制作企画提案 中間プレゼンテーション						
5	進級制作企画提案修正						
6	進級制作企画提案 最終プレゼンテーション						
7	進級制作1						
8	進級制作2						
9	進級制作3						
10	進級制作4						
11	進級制作 発表プレゼンテーション（練習）						
12	進級制作 リフレクション						
13	進級制作 最終発表プレゼンテーション						
14	総合演習 1						
15	総合演習 2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	実習	企画	大武 正光	有	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
本授業では、プロフェッショナルになる人材をまとめあげるための企画書作りおよび就活に対応する企画書の習得を目指していきます。ただ作るだけではなく、各々の個性に合わせた形で講師の修正を受けてアップデートすることにより、より通用する書類を作れることを理解し、自分をプレゼンする能力を身につけます。						
【講義概要】						
企画書や打ち合わせにも発想と構築力、プレゼン力が必要となります。主に社会における集団作業の要となる企画書の書き方について学びます。就職活動に直結する企画書作りを念頭に講義を行います。ゲームのプランニングの発想の技術を中心に、企画書の作り方を身に付けることを目的とし、コンテンツとして伝える技術の「アイディアの発想力」・「ゲームの設計図作り」・「情報の構築力」の三本柱を身につけることが重要となります。ロールプレイから始まり、逆企画書、企画書制作に入っていく、集団制作の企画書作りを目指します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	企画書基礎／企画書の書き方					
2	人狼をロールプレイする／人狼で簡易企画書					
3	逆企画書とは？／漫画の逆企画書作成①／あらすじの書き方					
4	ジャンルの考察／逆企画書作成②／フローチャートとストーリーをつける					
5	発想術を学ぼう①三題噺②見かけ上の話／ブラウザゲームについて／二番煎じミニゲームを考える					
6	ミニゲーム企画を作る。中間試験の内容を発表					
7	中間試験					
8	マーケティング／売れそうなものからスマホゲームを作る／企画意図の作り方					
9	絵コンテ実習/スマホゲームの画面の設計図を書く／フローチャートに絵をつける					
10	スマホゲームのプレゼンテーション					
11	リテイク／次回の実習のための企画を考える					
12	発想術を学ぼう③メタファー／企画書の下書きを書く					
13	企画書の素材作成／プレゼンテーション。持ち時間五分					
14	プレゼンテーションの検討会およびリテイク					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	30%	20%	10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・提出物が期日までに「未提出」となった方は単位不可とします						
【教員紹介】						
アニメ等の脚本家として活動						
【教科書・参考文献】						
プリント教材配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門基礎 必修	講義	We bリテラシー	榎本 博文	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
マルチメディアを中心とした関連技術のプロフェッショナルになる「基礎知識」習得を目指し、知識の整理を行ないながら情報化社会の「利点と欠点」を正しく理解し情報を活用する能力を身につける							
【講義概要】							
溢れる情報の中から、本質を見抜くためには基本的な知識が重要となる。初学者にも理解できるよう、環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの、コンテンツ制作からWebサイトの構築など、ITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。「Web検定 Webリテラシー」合格者は授業免除。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	リテラシーとは？ 情報化社会の「利点と欠点」について						
2	SNSやYouTubeなどのメリットとデメリットについて						
3	第1章 Webの基礎知識1 WWWの仕組み。コミュニケーションとしてのWeb。						
4	第1章 身近なインターネットについて調べる。（ベンチマーキング）						
5	第3章 インターネットビジネス 確認小テスト ビジネスモデル、ビジネス構造						
6	第3章 プロジェクトマネジメント プロジェクトマネジメントの必要性とは						
7	第3章 プロジェクトマネジメントを意識したグループワーク						
8	中間試験 （第1章～第3章）						
9	第4章 Webサイトの企画・設計 ワークフローと現状分析						
10	第4章 情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。						
11	第5章 Webデザイン・制作実務 Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方						
12	第6章 Webマーケティング Webマーケティングの全体像						
13	第6章 SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策						
14	期末試験対策講座						
15	期末試験（第4章～第6章）						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%	10%		20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 1 Webリテラシー 第3版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎 必修	講義	デザイン基礎 I	福屋 貞行	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習します。座学学習と実習学習を相互に取り入れ、4つの基本原則（コントラスト、反復、整列、近接）を元に、講義の終盤では、実践演習を行います。名刺作りを必須課題とし、印刷会社へのデジタル入稿(DTP印刷)を体験していただきます。名刺制作費の実費が1,000円～3,000円程度かかります。常にものづくりへのアンテナを張り、街中に溢れているデザイン、UI/UXを意識し「何故そのデザインなのか？」と考える力を養うことを目的とします。							
【講義概要】							
教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	オリエンテーション、教本【Chapter1 デザインとはvol.01】リサーチ課題：広告集め						
2	教本【Chapter2 レイアウトの法則vol.01】						
3	教本【Chapter2 レイアウトの法則vol.02】リサーチ課題：広告集め講評1						
4	教本【Chapter3 文字の法則】						
5	教本【Chapter5 デザインの手法】※【Chapter4 カラーの法則】は別枠色彩学の授業で補填いただきます。						
6	教本【Chapter5 デザインの手法】実践演習1 Vol.01：チラシ制作（課題出題）						
7	実践演習1 Vol.01：チラシ制作(中間講評)						
8	実践演習1 Vol.02：チラシ制作(中間講評)						
9	実践演習1 Vol.03：チラシ制作(最終講評)、実践演習2 Webサイト制作1(課題出題)						
10	実践演習2 Vol.01：Webサイト制作1(中間確認1)						
11	実践演習2 Vol.02：Webサイト制作1(中間確認2)						
12	実践演習2 Vol.03：Webサイト制作1(最終確認)、実践演習3 Webサイト制作2、ゲームUI制作1						
13	実践演習3 Vol.01：Webサイト制作2、ゲームUI制作1(中間確認1)						
14	実践演習3 Vol.02：Webサイト制作2、ゲームU制作1(中間確認2)						
15	実践演習3 Vol.03：Webサイト制作2、ゲームU制作1(最終講評)						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
Web制作会社にてエンジニアとして業務に従事							
【教科書・参考文献】							
やさしいデザインの教科書[改訂版]							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	デザイン基礎Ⅱ	福屋 貞行	有	2 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

本講義では、初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。

「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習する。(前期と同様)

デザイン自体を表層的なものとするのではなく、あらゆるものに該当し、例えばプログラミングなどで表現できる動きやUI/UXもデザインの一部だと理解する。

実制作を中心に経験を積み、相手に伝わるデザイン、プレゼンテーションを心掛ける。

作って終わりではなく、しっかりと振り返りをし、より完成に近づける姿勢を身に付ける。

【講義概要】

教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	ハイジアクリスマスバナー個人講評 作品提出直前講評
2	前期課題「フライヤー」最終講評法則vol.01】 前期最終課題のA4サイズフライヤーの最終講評
3	名刺作成 講評 イラストレーターを使用した名刺の講評
4	優れたUI/UX（第1回） 身近にある優れたUI/UXの既製品（ゲームなどでも可）をリサーチし、グループワークにて、プレゼン資料としてまとめる
5	優れたUI/UX（第2回） 第4回のプレゼンを行う（チームの全員がスピーカーとして話す）
6	フリーデザイン（課題説明） 自らモチーフを決めて、作品を作る課題の方向性確認。提出形態は自由。
7	中間試験
8	美術館、展覧会レポート 提示された中から1つ興味のある催事を選び、感想（得たもの、感じたこと、自分との対比、今後の方向性など）をレポートにまとめてプレゼン
9	美術館、展覧会レポート、ポートフォリオ 初回チェック 第7回の続きと、ポートフォリオの初回チェック（方向性と不足要素の確認）
10	ポートフォリオ 初回チェック 第8回の続き
11	フリーデザイン 作品プレゼン 第6回フリーデザインのプレゼンと講評
12	ポートフォリオ 中間チェック（個人） ポートフォリオプレゼン前の確認
13	ポートフォリオ プレゼン（第1回） ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う出題）
14	ポートフォリオ プレゼン（第2回）、総表 ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

We b制作会社にてエンジニアとして業務に従事

【教科書・参考文献】

やさしいデザインの教科書[改訂版]

東京電子専門学校 ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	実習	フォトショップ/イラストレーター		黒澤 純一	有	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Adobe Photoshop、Illustratorの基本的な技術習得を目指す。 また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。							
【講義概要】							
前半では、Adobe Photoshop、Illustratorの基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、 後半では、学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義概要、Adobe PhotoshopとIllustratorの基本情報とできることについて解説 デザインツール体験：PhotoshopのAI機能Adobe Senseiを使って画像編集してみよう						
2	Illustrator基礎① ドキュメントサイズ、ワークスペース解説、文字ツール、保存/書き出し方法、各種図形の描画、パスの操作/描画、オブジェクトの塗りと線						
3	Illustrator基礎② レイヤー機能/概念の解説、デザインの4原則について解説、名刺作成（課題制作）、書き出し形式の種類について解説						
4	Photoshop基礎① 画像の切り抜き、明るさ/色の調整、選択範囲とマスク、レタッチ、合成、ベクターとラスターのファイル形式について解説						
5	Photoshop基礎② デザイン制作の基本フロー解説、文字ツールとレイヤースタイルの解説、デザインの4原則復習、ポスター制作（課題制作）						
6	Illustrator演習① オリジナルロゴ・名刺制作（課題制作）、課題概要						
7	Illustrator演習② 続き デザイン考案、制作						
8	Illustrator演習③ 続き 完成・レビュー、データ入稿						
9	Photoshop演習① ウェブ広告について解説、バナー制作（課題制作）						
10	Photoshop演習② 続き 制作/完成						
11	課題制作① 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作						
12	課題制作② 同様						
13	課題制作③ 同様						
14	課題制作④ 同様						
15	課題制作⑤ 同様						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	セキュリティ	久良知 健	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
ネットワーク・ビギナー向けに、情報セキュリティ・サイバーセキュリティの初歩を学ぶ。 日々必要となる情報セキュリティを理解し、実践ができるようになることを、目的とする。						
【講義概要】						
「インターネットの安全・安心ハンドブック」をテキストとして、最新の情報セキュリティの話題を交えながら、情報セキュリティ・サイバーセキュリティの初歩を学ぶ。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、CSIRT、サイバー攻撃					
2	マルウェア、情報セキュリティの守り方のポイント、ソーシャルエンジニアリング					
3	攻撃、踏み台、犯罪、ボット、IoT					
4	情報セキュリティの要素：パスワード					
5	情報セキュリティの要素：無線LAN					
6	情報セキュリティの要素：Web・メールを安全に利用する					
7	中間試験					
8	情報セキュリティの要素：暗号化					
9	スマホのセキュリティ設定					
10	パソコンのセキュリティ設定					
11	攻撃を受けた時の対処、情報セキュリティ監査の資格					
12	情報リテラシー：SNS					
13	情報リテラシー：違法行為、不正行為、子供を守る					
14	情報リテラシー：屋外・海外でのシステムの利用、大災害・テロに備える					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
NISC：「インターネットの安全・安心ハンドブック」 https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I		高嶋 知由	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ハードウェアの基礎について学習する。							
【講義概要】							
テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。 毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	コンピュータの基本構成						
2	10進数・2進数						
3	2進数・16進数						
4	インタフェース、入出力装置						
5	中央処理装置						
6	前半のまとめ						
7	中間試験						
8	補数表現と浮動小数点数						
9	誤差、シフト演算						
10	主記憶装置						
11	ハードディスク						
12	論理演算						
13	その他補助記憶						
14	後半のまとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	20%				100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	高嶋 知由	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ハードウェアの基礎について学習する。						
【講義概要】						
テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。 毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	コンピュータの基本構成					
2	10進数・2進数					
3	2進数・16進数					
4	インタフェース、入出力装置					
5	中央処理装置					
6	前半のまとめ					
7	中間試験					
8	補数表現と浮動小数点数					
9	誤差、シフト演算					
10	主記憶装置					
11	ハードディスク					
12	論理演算					
13	その他補助記憶					
14	後半のまとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム	坂井 剛	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
アルゴリズムの基本、及び代表的なアルゴリズムパターンを学習する。						
【講義概要】						
代表的なアルゴリズムの学習のみでなく、与えられた課題に対して学生がフローチャートを設計していく実践的な講義内容となる。同時にアルゴリズムのC言語/Javaによる実装も併せて取り扱う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	アルゴリズムとフローチャートの基礎					
2	変数					
3	比較分岐①					
4	比較分岐②					
5	繰り返し処理①					
6	繰り返し処理②					
7	中間試験					
8	1次元配列					
9	多次元配列					
10	配列探索①					
11	配列探索②					
12	データ挿入、削除					
13	並び替え①					
14	並び替え②					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
【教科書・参考文献】						
「ITワールド」（インフォテックサーブ）、「アルゴリズムを、はじめよう」（インプレス)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門基礎 必修	講義	ネットワーク	高木 健至	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
インターネットに代表されるコンピュータネットワークの基礎及びネットワーク技術を習得する。また、情報処理技術者試験の対象範囲の問題に対応できるようになる。							
【講義概要】							
ネットワークの基礎技術と，プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から，我々の生活を支える社会基盤となっている LAN，インターネットの仕組みを学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	インターネットの概要						
2	通信サービスの品質評価						
3	インターネット 電子メール、WWW						
4	インターネット 各種サービス						
5	インターネット プロトコル①						
6	インターネット プロトコル②						
7	中間試験						
8	ネットワークアーキテクチャ OSI						
9	ネットワークアーキテクチャ TCP/IP						
10	LANの概要						
11	LAN アクセス制御						
12	ネットワークの仕組み 変調、同期、誤り制御						
13	ネットワークの仕組み 交換方式、その他						
14	ネットワーク管理						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
教育（情報、通信等）を中心に，ITサービス（インターネット，LAN他），コンサルタント等，IT関連事業を行っています。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド （株）インフォテックサーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象														
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数														
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
データベースとは、DBMSについて 関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得																			
【講義概要】																			
テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。 毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	データベースとは 関係データベースの特徴																		
2	DBMS 排他制御、障害回復処理																		
3	表の定義 正規化																		
4	SQL CREATE文																		
5	SQL SELECT文 * DISTINCT																		
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定																		
7	中間試験																		
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY																		
9	SQL SELECT文 表の結合																		
10	SQL SELECT文 副問合せ																		
11	SQL SELECT文 相関問合せ																		
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT																		
13	SQL 総合問題演習																		
14	DB 基本情報午後問題																		
15	期末試験																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>20%</td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></table> (補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	20%				100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	80%	20%				100%													
【教員紹介】																			
【教科書・参考文献】																			
ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	色彩検定対策	山田 忍	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
色彩について学び、その知識を作品制作に役立てる。色彩検定UC級、3級の取得。						
【講義概要】						
本講義では色彩検定の取得を目的とした講義を展開する。 色彩検定の受験終了後はその知識を活かすための演習を行う。 後半には関連科目「UI演習」、「HTML/CSS I」、「デザイン基礎 I」と連携した制作課題を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	色彩を学ぶ意義、色彩検定について、色のユニバーサルデザイン					
2	色が見える仕組み					
3	色の表し方					
4	色覚タイプによる色の見え方					
5	高齢者の見え方、色のUDの進め方					
6	色彩検定 対策問題					
7	色彩検定 対策問題					
8	色彩検定 対策問題					
9	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作					
10	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作					
11	制作課題：Webサイトの色彩設計					
12	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとにWebサイトのデザインを制作する					
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとにWebサイトのデザインを制作する					
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとにWebサイトのデザインを制作する					
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとにWebサイトのデザインを制作する					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。						
【教科書・参考文献】						
色彩検定公式テキスト						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	実習	I Tパスポート対策	小泉 真理子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
ITパスポート試験合格を目標とする						
【講義概要】						
ITパスポート試験の資格対策を行う。用語と過去問を理解し、資格取得を目指す。 合格者は授業・定期試験を免除する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Iパスについて 実力確認テスト					
2	マネジメント システム監査					
3	マネジメント システム監査					
4	マネジメント システム開発手法 上流工程					
5	マネジメント システム開発手法 下流工程					
6	マネジメント サービスサポート					
7	中間試験					
8	マネジメント サービスサポート					
9	マネジメント プロジェクトマネジメント					
10	マネジメント プロジェクトマネジメント					
11	ストラテジ システム企画					
12	ストラテジ 経営戦略					
13	ストラテジ 経営戦略					
14	ストラテジ 経営戦略					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		30%	20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。						
【教科書・参考文献】						
ITパスポート試験過去問題						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	講義	基礎学力	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる						
【講義概要】						
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など						
回	授業計画及び学習の内容					
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）					
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題					
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題					
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）					
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題					
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習					
7	中間試験					
8	図形問題（角度）					
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）					
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題					
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題					
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）					
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題					
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ） 合計	
割合	80%	10%		10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策	石井 眞木子	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
グループディスカッション、グループワークを通して自分自身を理解し他者とのコミュニケーションを学ぶ。就職活動の流れ、採用試験までの対応を体系立てて学習する。						
【講義概要】						
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッション（価値観のワーク）					
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明					
3	働くことの意味、社会人との違いの理解					
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「ボランティア」					
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「GUAKOボム」					
6	お金の話（給与＋残業代）					
7	中間試験					
8	ソフトウェア業界の理解、業界の構成、S E の業務内容					
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所					
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓 「ジョハリの窓」					
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代にがんばったこと					
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢					
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践					
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション I	黒澤 くみこ	有	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
1. 就職活動に向けた意識の切り替えと行動規範を身につける。 2. 企業を訪問することを見据え、ビジネスの社会におけるルールやマナーをこの機会に修得する。 3. 技術者としての積極的な活動に繋がるための、ビジネスマナー、コミュニケーションスキルひいてはプレゼンテーションスキル、を身につける。 4. 就職活動に向けたモチベーションの向上。目標の明確化 5. ディスカッション、実習、発表などの体験学習により単なる知識で終わらせず、行動変革に繋げる						
【講義概要】						
社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	オリエンテーション／講師自己紹介／学生の自己紹介 キャリア開発とは／キャリア開発における「いま、ここ」の確認 学生から社会人になることの意味、本講義の目的の確認					
2	ディスカッション「学生と社会人の違い」／発表／講師コメント 十字架のリーダーシップ					
3	挨拶、態度、第一印象についての知識の修得 好印象のためのアドバイス、実習 名刺の受け渡し、その他説明会での立ち居振る舞い					
4	優れたビジネスパーソンの要件とは コミュニケーションに大切な聴く力 第一印象の重要性と効果的な第一印象行動とは					
5	組織の一員としての自己管理について 基本動作実習（表情訓練／立ち方座り方／挨拶／自己紹介） 枠組み効果					
6	敬語と言葉遣いⅠ 敬語テスト、解答					
7	実践：訪問のマナー VTR撮影、振り返り・アドバイス					
8	電話応対 情報は5W3Hで整理する 対人影響力の基本 フォロワーシップ 先輩への接し方					
9	プレゼンテーションの3ステップ：デリバリースキルとは／ショートスピーチ「即題スピーチ」 プレゼンテーション（説明力）：「〇〇の大切さを分らせる」					
10	発表：「〇〇の大切さを分らせる」 接遇マナー（展示会に於ける来客対応）：実践：信頼される社会人としての立ち居振る舞い					
11	自己の振り返り（ライフラインシート）グループ内発表 価値観探索インタビュー					
12	スピーチ「心に残った〇〇」					
13	スピーチ「自己PR」発表 VT撮影、振り返り 相互アドバイス					
14	まとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
講義内容に沿ったプリントの配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		1 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅰ	ウェブ・メディア科 担当教員	無	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。						
【講義概要】						
この授業は、春と秋のハイキングやスポーツ大会、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	春のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)					
2						
3						
4	学園祭準備（1 日目、2 日目）					
5						
6						
7	学園祭（1 日目）					
8						
9						
10	学園祭（2 日目）、後片付け					
11						
12						
13	秋のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)					
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%
(補足)						
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。						
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	企画実践Ⅰ		榎本 博文	有	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
企画に必要な基本的な知識を学び、消費者のニーズに合う商品やサービスを企画・実践する。							
【講義概要】							
市場動向などの情報を収集、分析、活用し、顧客や消費者が求めるものは「何か?」といった物事の本質をとらえた上で、発想力を持って効果的な手法を学びます。主体的に自分自身で行動することを期待します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	本講義のガイダンス。企画書とは。マーケティング、提案書など基礎知識を学ぶ						
2	社会状況、経済状況、トレンド分析などを情報収集を学ぶ						
3	ターゲット戦略、ペルソナなどユーザー心理、SNSなどのバイラル効果を学ぶ。						
4	テーマに沿った企画書作成①						
5	企画書発表・プレゼンテーション演習						
6	テーマに沿った企画書作成②						
7	企画書発表・プレゼンテーション演習						
8	中間試験						
9	テーマに沿った企画書作成③						
10	企画書発表・プレゼンテーション演習						
11	テーマに沿った企画書作成④						
12	企画書発表・プレゼンテーション演習						
13	テーマに沿った企画書作成⑤						
14	企画書発表・プレゼンテーション演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%		40%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
総務省情報通信白書・配布プリントなど							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	企画実践Ⅱ		榎本 博文	有	1.5 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
産学連携など実際の業務の疑似体験などを行う。卒業制作作品の発表の機会として展示会の開催を行う。						
【講義概要】						
展示会の企画を検討し実践します。他校との合同イベントでは、中心となって企画を制作する。クラス全員が相互作用し合って、良いイベントを実施できることを期待しています。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	学園祭準備（展示企画）					
2	学園祭準備（展示企画）					
3	学園祭準備（展示企画）					
4	講義・グループワーク・他校との合同イベント					
5	講義・グループワーク・他校との合同イベント					
6	講義・グループワーク・他校との合同イベント					
7	中間試験					
8	展示会準備（展示会企画・準備）					
9	展示会準備（展示会企画・準備）					
10	展示会準備（展示会企画・準備）					
11	展示会準備（展示会企画・準備）					
12	展示会準備（展示会企画・準備）					
13	展示会					
14	展示会振り返り					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		40%	20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	動画編集 I	黒澤 純一	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができるAdobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。						
【講義概要】						
授業前半は、動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、授業後半は、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	講義概要、動画の仕組みと効果、ウェブでの活用方法について解説 Premiere Pro演習① 作業フォルダ作成・カット編集・書き出しの一連を体験するシーケンス、クリップ、タイムラインなどの主なワークスペースの解説					
2	Premiere Pro演習② テロップ、画像合成、サウンド調整・BGMの追加、カラー補正について					
3	Premiere Pro演習③ 各種エフェクト項目、キーフレームアニメーションについて、スライドショー作成					
4	ウェブ活用① YouTubeへの動画のアップロード、ウェブ用のエンコードや対応形式について、動画のファイル形式と種類、フレームレート/サイズ(解像度)、コンテナ/コーデックの理解					
5	ウェブ活用② YouTube配信について、画面録画・配信ツールOBS Studioについて					
6	ウェブ活用③ ウェブページに動画を埋め込む・外部サイト(YouTubeなど)の動画を埋め込む方法、video / iframeタグの属性、各環境での動画再生の特性について解説					
7	前回までの復習を兼ねた課題制作（次回の確認テスト対策） ※中間テスト明け初回					
8	確認テスト・・・①文章問題：基本的な動画に関する知識 ②実技：基本的な動画編集、ウェブページへの動画の埋め込み					
9	広告研究① PR動画の制作手法などを学習して「伝わる動画」について理解する					
10	広告研究② テーマに沿ったPR動画の制作、動画におけるデザインについて					
11	課題制作① 自己紹介動画の制作（1.はじめの挨拶、2.趣味・特技、3.将来の目標、4.おわりの挨拶）					
12	課題制作② 続き ※進捗により夏休みの課題とする					
13	課題制作③ 完成 観賞/評価会					
14	作品制作① 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作					
15	作品制作② 同様					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%	30%		20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事						
【教科書・参考文献】						
講義内容に沿ったテキストの配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	動画編集Ⅱ	黒澤 純一	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができるAdobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。						
【講義概要】						
授業前半は、動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、 授業後半は、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	課題制作①（学園祭展示用）作品紹介動画の制作					
2	課題制作② 続き					
3	課題制作③ 続き ※学園祭までに完成					
4	After Effects演習① アプリの特性について解説、作業フォルダ作成と書き出しの一連を体験・レイヤー、コンポジション、キーフレーム、エフェクトなどのワークスペース解説					
5	After Effects演習② ロゴ・タイトルアニメーションの作成方法、Illustratorとの連携について					
6	After Effects演習③ 続き 作品完成					
7	ウェブ活用① 動画を使ったファーストビュー、動画を使う効果について、ファーストビュー制作演習					
8	ウェブ活用② 続き					
9	ウェブ活用③ 完成 評価/観賞会					
10	課題制作①（卒制展示会用）作品紹介動画の制作					
11	課題制作② 続き 台本考案、撮影/編集/素材制作					
12	課題制作③ 続き					
13	課題制作④ 続き ※展示会までに完成					
14	作品制作① 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作					
15	作品制作② 同様					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事						
【教科書・参考文献】						
講義内容に沿ったテキストの配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	HTML/CSSⅢ	高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
デザイン画から適切に文章構造を意識したHTMLコーディングをおこなう。また、デザイン画を再現できるようにCSSを設定する。						
【講義概要】						
本講義ではVisualStudioCodeを使い、実習形式でHTML・CSSを制作していく。理解度を図るためテストを実施する。また、定期的に課題制作がある。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	デザインからプレーンなHTMLを作成する					
2	デザインに必要な要素とclassを設定する					
3	ページ全体をレイアウトする					
4	ページ全体をレイアウトする					
5	ナビゲーションのレイアウト					
6	ナビゲーションのレイアウト					
7	小テスト					
8	数値の単位に配慮する					
9	パーツのスタイリング					
10	レスポンス対応					
11	レスポンス対応					
12	レスポンス対応					
13	小テスト					
14	総合演習					
15	総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	40%		20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。						
【教科書・参考文献】						
プロのコーディングが身につくHTML/CSSスキルアップレッスン						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門 必修	実習	We bプログラミング		国井 和昭	無	3 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
ウェブサイトのバックエンドで広く利用されているPHP（Hypertext Preprocessor）を利用したWEBアプリケーション構築技術を学び、DB（SQLiteやMaria DB）の種類や連携、メール送信技術を身に付ける。 また、JavaScriptとなどの他言語とのプログラムの違いを理解する。（ローカル・サーバーサイドの違い）						
【講義概要】						
技術的な理解にとどまらず、実際にアプリケーションを構築する上でのサーバーサイドの役割を正しく把握する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	教科ガイダンス。他言語との違いやバージョンについて。MAMPインストール。FormタグとPHPの基礎。					
2	DBMSとRDBMSに関して。変数と配列のおさらい。ユーザ情報（IPアドレス）の取得。					
3	DBとの連携。SQL文の基本「SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE」入力フォームおさらい。					
4	セッションとクッキー。セキュリティ対策、XSS（クロスサイトスプリクティング）対策					
5	PHPによるログイン認証ページの作成 1					
6	PHPによるログイン認証ページの作成 2					
7	入退場システム構築 1（SQLite）・全体の流れを理解する。（QRコード生成プログラムなど）					
8	入退場システム構築 2（SQLite）・メール自動送信					
9	入退場システム構築3（SQLite）・来場記録登録					
10	ランキングシステムの構築 1（Maria DB）					
11	ランキングシステムの構築 2（Maria DB）					
12	WordPress演習 1 インストール					
13	WordPress演習 2 デザイン変更					
14	総合演習 自由課題制作1（SQLite）					
15	総合演習 自由課題制作2（SQLite）					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ） 合計
割合		30%			70%	100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	J a v a S c r i p t Ⅱ	高橋 義博	有	1.5 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Canvas要素やVideo要素などJavaScriptの利用が必須のHTML要素の技術を学習する。これらの技術を使って、Webアプリを作成していく。							
【講義概要】							
本講義ではVisualStudioCodeを使い、実習形式でプログラムを制作していく。理解度を図るためテストを実施する。また、定期的に課題制作がある。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Canvasについて、図形の描画（線、矩形、円など）						
2	Canvasによるペイントアプリ						
3	Canvasによるペイントアプリ						
4	Canvas図形のアニメーション						
5	Canvasブロックくずし						
6	Canvasブロックくずし						
7	小テスト						
8	Videoの再生と制御						
9	Videoの再生と制御						
10	LocalStragelによるメモアプリ						
11	LocalStragelによるメモアプリ						
12	総合課題制作						
13	総合課題制作						
14	総合課題制作						
15	総合課題制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%	40%		20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							
JavaScript[完全]入門							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	プログラミング演習 I	高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Pythonの目的や役割をしっかりと理解したうえで、他のプログラミング言語との違いも含めて、Pythonの基本を学習する。WebAPIの活用やスクリプティングなど幅広くPythonの仕組みを理解する。						
【講義概要】						
プログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。 実践的なWebシステム開発についても学習する。理解度を図るためのテストを実施する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Python基礎：Pythonの開発環境づくり、Pythonシェルを使った簡単な操作					
2	Python基礎：前回の課題解説、モジュールについて、calender, date, math					
3	Python基礎：リストについて、タプルについて、条件分岐、三項演算子、論理演算子					
4	Python基礎：内包表記、if構文を含む内包表記、forの練習問題					
5	Python基礎：辞書、集合、文字列操作、スライス、関数。復習テスト					
6	Matplotlibによるグラフ化					
7	RequestsモジュールによるWebAPI取得					
8	Webスクレイピングについて。Beautiful SoupでHTMLの解析					
9	課題：スクレイピングでニュース一覧、英単語一覧の作成					
10	Seleniumによるブラウザ操作とスクレイピング、Webフレームワークについて					
11	PythonでじゃんけんWebアプリ制作					
12	PythonでじゃんけんWebアプリ制作、DBについて					
13	デプロイ					
14	総合演習					
15	総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	40%		20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。						
【教科書・参考文献】						
Python[完全]入門						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	プログラミング演習Ⅱ		高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Webシステム開発の現場では、多く利用されているPHPフレームワークであるLaravelを学びながら、Webシステム開発に必要なDockerによるシステム構築やMVCの技術を習得する。							
【講義概要】							
現在のシステム開発ではフレームワークの使用が必須である。そのため、フレームワークの概念や使い方を学び、実践的な開発手法を経験する。自主学習も必要不可欠である。教科書を使用するため、教科書は必携すること。（貸出不可）							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Laravelを始める準備、Dockerについて、新規で開発環境を作成する						
2	データベースからつぶやきを取得する、コントローラの作成、HTMLを表示する						
3	つぶやきを投稿する処理を作成する						
4	つぶやきを編集する処理を作成する						
5	つぶやきを削除する処理を作成する						
6	制作状況のレビューとチェック						
7	ログイン機能を追加する						
8	ログイン機能の実装						
9	ログイン機能をつぶやきアプリと連携する						
10	メールの送信機能を追加する						
11	オリジナルつぶやきアプリ制作						
12	オリジナルつぶやきアプリ制作						
13	オリジナルつぶやきアプリのプレゼン						
14	総合演習						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%	40%		20%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							
プロフェッショナルWebプログラミング Laravel							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Web 詳論	榎本 博文	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
高度情報化社会に対応するITエンジニアの養成を念頭に講義を行う。 溢れる情報の中から「本質」を見抜くためには、基本的なIT知識は勿論、幅広い知識が重要となる。						
【講義概要】						
環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの「コンテンツ制作」「Webサイト構築」（正しい情報発信）を通じITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	コミュニケーションツールとしてのインターネットの使い方。SDGsとGAFAMについて					
2	インターネットの歴史とWWWの仕組み。WebApiの実用方法について。					
3	Illustrator Photoshopなどのグラフィック系ソフト演習 UI（User Interface） / UX（User Experience）					
4	インターネットビジネス1 インターネットの市場価値と影響力。日本市場と世界市場の違い。					
5	プロジェクトマネージメントの必要性。スタッフの役割と管理。リソース管理・スケジュール管理。					
6	中間試験前のまとめ講義。試験直前対策。					
7	中間試験					
8	ワークフローと現状分析。webサイトの狙いとゴール設定。コンテンツの企画。公開と運用。					
9	情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。					
10	Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方、サーチ力とは。					
11	伝わるデザインとは？ウェブアクセシビリティの概要。ターゲット、ペルソナを考える。					
12	Webマーケティングの全体像。インターネット広告の形式の違い。					
13	SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策。					
14	期末試験前のまとめ講義。試験直前対策。					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。						
【教科書・参考文献】						
ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック1 Webリテラシー 第3版 2030年の世界の地図帳 プリント配布など						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ポートフォリオ制作		榎本 博文	有	1.5 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
1 年、2 年次前期に取り組んだ課題をポートフォリオとしてまとめる。						
【講義概要】						
クリエイターとして活動するには、制作スキルはもちろんポートフォリオや能力をアピールするプレゼン力が必要である。ポートフォリオ制作について個別の指導を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	本講義のガイダンス。ポートフォリオとは？					
2	ポートフォリオ制作①					
3	ポートフォリオ制作②					
4	ポートフォリオ制作③					
5	ポートフォリオ制作④					
6	中間発表①					
7	ポートフォリオ制作⑤					
8	ポートフォリオ制作⑥					
9	ポートフォリオ制作⑦					
10	ポートフォリオ制作⑧					
11	中間発表②					
12	ポートフォリオ制作⑨					
13	ポートフォリオ制作⑩					
14	ポートフォリオ制作⑪					
15	最終発表					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		100%				100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。				
【教員紹介】						
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	前期卒業制作 I		高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 当専門学校までの総決算・メッセージ発信【同級生、在学生、将来の入学生／就職先／社会】 ・ 卒業単位認定（習得した技術の反映と、なんらか商業的・社会的価値を想定したもの）							
【講義概要】							
指導教員による個別指導。概要は別紙「卒業制作概要説明」を確認のこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	卒業制作ガイダンス						
2	卒業制作企画提案						
3	卒業制作企画提案						
4	卒業制作企画提案 中間プレゼンテーション						
5	卒業制作企画提案修正						
6	卒業制作企画提案 最終プレゼンテーション						
7	卒業制作1						
8	卒業制作2						
9	卒業制作3						
10	卒業制作4						
11	卒業制作 発表プレゼンテーション（練習）						
12	卒業制作 リフレクション						
13	卒業制作 最終発表プレゼンテーション						
14	学園祭への展示に向けてブラッシュアップ						
15	学園祭への展示に向けてブラッシュアップ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							
Python[完全]入門							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門 必修	実習	前期卒業制作Ⅱ		高橋 義博	有	3 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
・ 当専門学校までの総決算・メッセージ発信【同級生、在学生、将来の入学生／就職先／社会】 ・ 卒業単位認定（習得した技術の反映と、なんらか商業的・社会的価値を想定したもの）						
【講義概要】						
指導教員による個別指導。概要は別紙「卒業制作概要説明」を確認のこと。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	卒業制作ガイダンス					
2	卒業制作企画提案					
3	卒業制作企画提案					
4	卒業制作企画提案 中間プレゼンテーション					
5	卒業制作企画提案修正					
6	卒業制作企画提案 最終プレゼンテーション					
7	卒業制作1					
8	卒業制作2					
9	卒業制作3					
10	卒業制作4					
11	卒業制作 発表プレゼンテーション（練習）					
12	卒業制作 リフレクション					
13	卒業制作 最終発表プレゼンテーション					
14	学園祭への展示に向けてブラッシュアップ					
15	学園祭への展示に向けてブラッシュアップ					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		100%				100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。				
【教員紹介】						
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。						
【教科書・参考文献】						
Python[完全]入門						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	後期卒業制作 I		高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 当専門学校までの総決算（前後期継続の場合） ・ メッセージ発信【同級生、在学生、将来の入学生／就職先／社会】 ・ 卒業単位認定（習得した技術の反映と、なんらか商業的・社会的価値を想定したもの）							
【講義概要】							
指導教員による個別指導となります。 概要は別紙「卒業制作概要説明」を確認のこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	卒業制作ガイダンス						
2	卒業制作企画提案						
3	卒業制作企画提案						
4	卒業制作企画提案 中間プレゼンテーション						
5	卒業制作企画提案修正						
6	卒業制作企画提案 最終プレゼンテーション						
7	卒業制作1						
8	卒業制作2						
9	卒業制作3						
10	卒業制作4						
11	卒業制作 発表プレゼンテーション（練習）						
12	卒業制作 リフレクション						
13	卒業制作5						
14	卒業制作6						
15	卒業制作 最終発表プレゼンテーション						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース		2023 年		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	後期卒業制作Ⅱ		高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 当専門学校までの総決算（前後期継続の場合） ・ メッセージ発信【同級生、在学生、将来の入学生／就職先／社会】 ・ 卒業単位認定（習得した技術の反映と、なんらか商業的・社会的価値を想定したもの）							
【講義概要】							
指導教員による個別指導となります。 概要は別紙「卒業制作概要説明」を確認のこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	卒業制作ガイダンス						
2	卒業制作企画提案						
3	卒業制作企画提案						
4	卒業制作企画提案 中間プレゼンテーション						
5	卒業制作企画提案修正						
6	卒業制作企画提案 最終プレゼンテーション						
7	卒業制作1						
8	卒業制作2						
9	卒業制作3						
10	卒業制作4						
11	卒業制作 発表プレゼンテーション（練習）						
12	卒業制作 リフレクション						
13	卒業制作5						
14	卒業制作6						
15	卒業制作 最終発表プレゼンテーション						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語	酒井 智子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。						
【講義概要】						
各回とも、精選した重要な文法事項を理解し、用法のマスターを目指す。身近で興味深い題材を用い楽しみながら語彙を増やして即戦力となる基盤を築きたい。積極的な取り組みによる成果を得ることで日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	オリエンテーション、5文型8品詞					
2	自動詞・他動詞、There is ～構文					
3	不定詞の名詞的用法、It is ~to (do)構文					
4	動名詞					
5	不定詞の形容詞・副詞的用法					
6	受動態					
7	中間試験					
8	分詞の形容詞的用法					
9	接続詞（等位接続詞）					
10	接続詞（従属接続詞）①					
11	接続詞（従属接続詞）②					
12	関係代名詞①					
13	関係代名詞②					
14	関係副詞					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報学部）。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格： 英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)						
【教科書・参考文献】						
プリント						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。							
【講義概要】							
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス						
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点						
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法						
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本						
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い						
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」						
7	中間試験						
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応						
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成						
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方						
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次						
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー						
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール						
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「うかる！秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象														
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅡ	黒澤 くみこ	有	1.5 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
☐社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける ☐社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得 ☐社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける ☐それらを就職活動に活かす																			
【講義概要】																			
社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。 講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	後期授業のガイダンス、スピーチ（後期授業に向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」																		
2	スピーチ「自己紹介」準備、自己紹介&相互コメント																		
3	スピーチ「自己PR」準備、																		
4	スピーチ「自己PR」発表①																		
5	スピーチ「自己PR」発表②																		
6	ビジネスコミュニケーションケーススタディ① スピーチ																		
7	ビジネスコミュニケーションケーススタディ② スピーチ																		
8	仕事の進め方とマネジメントサイクル「PDCA」～卒業制作展示会をテーマにグループワーク～①																		
9	仕事の進め方とマネジメントサイクル「PDCA」～卒業制作展示会をテーマにグループワーク～②																		
10	対人影響力（リーダーシップ、フォロワーシップ） 強力なフォロワーとしてスタートする スピーチ																		
11	対人影響力と後輩指導（1年生との関わり方を事例としてのケーススタディ） スピーチ																		
12	グループワーク「コンセンサスの取り付け」																		
13	後期のまとめ																		
14	期末試験																		
15																			
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>10%</td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		10%	30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	60%		10%	30%		100%													
【教員紹介】																			
【教科書・参考文献】																			
講義内容に沿ったプリントの配布																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科/ウェブ・デザインコース	2023 年		2 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般 必修	実習	体育実習Ⅱ	ウェブ・メディア科 担当教員	無	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。						
【講義概要】						
この授業は、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	学園祭準備（1日目、2日目）					
2						
3						
4	学園祭（1日目）					
5						
6						
7	学園祭（2日目）、後片づけ					
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						